

2 耐震改修の流れ

【耐震改修の流れ】

耐震相談



耐震診断



耐震補強設計



耐震改修

ステップ1：耐震相談 ～わからないことを相談しよう～

- ・県内市町村の多くで、“無料耐震相談会”を開催していますので、積極的に参加しましょう。
- ・耐震相談は、設計図書やお悩みの内容をもとに、建築士がお住いの耐震診断の必要性や、耐震化に関する知識等について、的確な助言及び専門家の紹介をしてくれます。

○知っていますか！？どなたでも簡易な耐震診断ができます

- ・「誰でもできるわが家の耐震診断」は、記載されている問診票に沿って回答するだけで、どなたでも簡易な耐震診断を行うことができます。
- ・一般財団法人日本建築防災協会のホームページに掲載されていますので、お住いの耐震性能について御自身でチェックしてみませんか。

https://www.kenchiku-bosai.or.jp/taishin_portal/daredemo_sp/

URL,QRコード:日本建築防災協会 自己診断コンテンツ「誰でもできるわが家の耐震診断」



ステップ2：耐震診断 ～建築士に家を診てもらおう～

【耐震診断に係る各目安】

費用	市町村からの補助	期間
5万円～15万円	4万円～8万円	～3週間程度

【耐震診断結果】

- ・“大地震が発生した際に必要とされる耐力”と“実際に保有している耐力”を基に建物の安全度を表すものです。
- ・上部構造評価点は、各階・各方向に算出し、その中で一番低い数値が採用されます。

上部構造評価点の結果により、下表のように判定します。

上部構造評価点	判定
1.5 以上	倒壊しない
1.0 以上～1.5 未満	一応倒壊しない
0.7 以上～1.0 未満	倒壊する可能性がある ←
0.7 未満	倒壊する可能性が高い ←

耐震改修を行い、上部構造評価点を1.0以上としましょう。



ステップ3：耐震補強設計 ～補強箇所と補強方法を決めよう～

【補強設計に係る各目安】

費用	市町村からの補助	期間
15万円～20万円	4万円～5万円	～1週間程度



ステップ4：耐震改修 ～補強設計に基づいて工事をしよう～

【耐震改修に係る各目安】

費用	市町村からの補助	期間
100万円～200万円	40万円～50万円	～2ヶ月程度



耐震化完了

総合的支援メニュー【市町村からの補助：100万円（目安）】

補強設計、工事監理及び耐震改修をセットとした耐震化を総合的に支援するメニューです。（補助事業として創設している市町村は、令和4年3月末時点で15市町村です。）

※従来の制度より手厚い補助が受けられます。

※詳細については、各市町村におたずねください。（P10 参照）

耐震改修における税制上の優遇措置について

耐震改修を実施すると、一定の要件を満たす場合に税金（所得税、固定資産税）の優遇を受けることができます。（令和4年6月時点）

※詳細については、住所地の所管税務署にお問い合わせください。

○所得税

要件：昭和56年5月31日以前に建築されたもの 等

減税額：耐震改修の標準的な工事費用相当額から、市町村補助額を除いた額の10%相当額（ただし、25万円が上限）

○固定資産税

要件：昭和57年1月1日以前から存在する住宅であるもの 等

減税額：住宅に係る翌年度分の、固定資産税額の1/2を減額（120㎡相当分までに限る）